「南砺市立部活動のあり方検討委員会」各委員から寄せられた意見や質問等

1 【部活動の意義】	
意見	<p>1 ①部活動は、単にそれぞれのスポーツや文化活動に関する技術力を向上させることだけでなく、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と同じ目標に向かって活動する (苦手なこと・やりたくないことも励まし合いながら3年間続ける) ・それぞれの組織の中で規律や礼儀を学ぶ ・挑戦・成功・達成・失敗・挫折などの実体験を積む <p>など、社会に出るための土台作りの一つとして重要な役割を担っている。</p> <p>⇒学習指導要領にも謳われているように、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢との交流の中で、人間関係の構築、生徒自身の自己肯定感を高める。 ・学習意欲の向上、責任感・連帯感の涵養等、資質能力を育成する。 <p>など、その意義は大きいと考え、重視した活動を展開します。</p>
意見	<p>1 ②現在の部活動は、生徒数が少なくなり運動部・文化部でのチーム編成が厳しい状況で、試合・大会等に出場できないことは、子供自身も目標を立てにくく、学校生活にも影響が出てしまう可能性があるように思う。</p> <p>⇒そうであるからこそ、試合や大会に出場できる環境を整える必要があると考え、今回の「南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会」を立ち上げました。</p>
意見	<p>1 ③自分たちが中学生時は、先輩後輩の上下関係がありましたが、今の子供たちは、あまり関係ないように接しているように感じます。そう考えれば、拠点校化案で組織と指導体制の一体化へと移行する改善案が良いように思う。</p> <p>⇒生徒数の減少による部活動の課題を解決するための一つの提案です。検討委員会において十分な議論を重ね、よりよいものにしたいと考えています。</p>
2 【予算・補助事業】	
意見	<p>2 ①南砺市は部活動指導員の数も多く、県内では部活動の一つの先進地であると考えている。令和3年度地域部活動推進事業の概算要求でスポーツ庁約2億2千万円、文化庁約1億3千万円の予算がついている。この予算執行は全国で114カ所とのことなので、南砺市としては是非こういった予算は取りに行き、併せて国や県からの情報も取るよう強く要望する。</p> <p>⇒すでに現在申請中であり、県の審査、国の審査を経て採択されれば実施可となります。</p>
意見	<p>2 ②県教育委員会は来年度、公立中学校の休日の部活動を地域や民間団体に委託する事業を試行するとの報道があった。教員の働き方改革が目的で、モデルとなる学校か自治体を二つ選んで実施する方向とのこと。</p> <p>⇒上記の委託事業のことです。</p>

質問	<p>2③第1回委員会での、「先生の働き方改革も目的に入るのか?」との質問に対して「あくまでも子ども達の部活動の充実した環境づくりを第一の目的と考えている。」との回答だったが、県や国と少しずれがあるのではないか?</p> <p>⇒本委員会の主たる課題は、「少子化による充実した部活動ができなくなっていることに対してどのような環境を整備するか」ということ、上記補助事業の主たる課題は、「教員の超過勤務時間（特に休日の部活動指導に係る超過勤務時間）の削減」ということで、実際に目的が異なっています。</p> <p>ただ、ご指摘のように、教員の働き方改革にもつながることは事実です。働き方改革が行われ、先生が元気になることが、子供の充実した部活動にもつながると捉えています。</p>
質問	<p>2④文部科学省では都道府県ごとに2校か2市町村を支援する見通しとのことだが、若干目的が違ふと感じる南砺市はその中に入れていただくことは可能なのか?</p> <p>⇒「教員の働き方改革」の面で可能で、現在申請中です。</p>

3 【指導者人材の確保】	
意見	<p>3①まずは休日の部活動を指導していただける人材を確保することからはじめてみてはどうか?</p> <p>⇒休日の地域部活動への移行は、現時点で人材確保の面も大きな課題となっており、体育協会や総合型地域スポーツクラブ、文化・芸術団体のご理解とご協力が必要不可欠だと考えています。</p>

4 【スポーツ少年団加入率】																	
質問	<p>4①南砺市内の小学生でスポーツ少年団の加入率はどれだけか?</p> <p>⇒</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～3年生</td> <td>21.2% (114/ 539 人)</td> <td>11.6% (55/ 473 人)</td> <td>16.7% (169/1012 人)</td> </tr> <tr> <td>4～6年生</td> <td>45.3% (251/ 554 人)</td> <td>30.1% (163/ 541 人)</td> <td>37.8% (414/1095 人)</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>33.4% (365/1093 人)</td> <td>21.5% (218/1014 人)</td> <td>27.7% (583/2107 人)</td> </tr> </tbody> </table>		男子	女子	全体	1～3年生	21.2% (114/ 539 人)	11.6% (55/ 473 人)	16.7% (169/1012 人)	4～6年生	45.3% (251/ 554 人)	30.1% (163/ 541 人)	37.8% (414/1095 人)	全 体	33.4% (365/1093 人)	21.5% (218/1014 人)	27.7% (583/2107 人)
	男子	女子	全体														
1～3年生	21.2% (114/ 539 人)	11.6% (55/ 473 人)	16.7% (169/1012 人)														
4～6年生	45.3% (251/ 554 人)	30.1% (163/ 541 人)	37.8% (414/1095 人)														
全 体	33.4% (365/1093 人)	21.5% (218/1014 人)	27.7% (583/2107 人)														

質問	4②クラブチームでスポーツを行っている小学生はどれだけか？			
	⇒			
		男子	女子	全体
	1～3年生	57.1% (308/ 539 人)	50.3% (238/ 473 人)	54.0% (546/1012 人)
	4～6年生	40.1% (222/ 554 人)	29.8% (161/ 541 人)	35.0% (383/1095 人)
全 体	48.5% (530/1093 人)	39.3% (399/1014 人)	44.1% (929/2107 人)	

5【部活動の加入】	
意見	5①入部時にクラブチームへ所属する生徒がいたので、チーム編成ができなくなることを考えられたため、未経験者でも興味がある友達に声を掛けて、入部をしてもらいチーム編成ができる状況でした。これから数年後には、生徒数が減っていき更にチーム編成が難しくなることを考えれば、早い段階で子供たち及び保護者にいろいろな選択ができることをお知らせし、子供たちがより成長できる環境を作る必要があるように思います。 ⇒子供たちや保護者のためには、方向性が決まればその周知をできるだけ早く行う必要があると考えています。
	5②学校によって、クラブチームなどの練習への参加を理由に部活動に参加しないということを認める学校と認めない学校があるようです。学校毎・部活動毎での判断ではなく、南砺市全体で統一させるべきではないでしょうか。(居住区の中学校では認められず、校区外の中学校を選ぶという事例もあるようです。) ⇒令和2年度からすべての中学校で、地域のスポーツクラブで活動する生徒が無理に部活動に所属しなくてもよいように共通理解して進められていますが、結果的に全員が入部しているケースもあります。今後も、各学校では放課後の時間を有意義に過ごすことができるように、市内で統一して部活動の加入について適切な指導を行っていきます。
意見	5③個人的には、中学校の部活動は、教育の一環として重要な意義のある活動であるという考えから、原則として部活動には参加するべきと考えます。 ⇒放課後に目標をもって継続的に活動するものがないという生徒は、部活動へ参加して、放課後が有意義な時間となるよう指導するという方向性はこれまでと変わらないと考えています。

6 【部活動選択の方法・選択肢】	
意見	<p>6①部活動の拠点校化となると家庭の事情等で挑戦したいことができなくなる可能性があると思う。兄弟が多い場合等</p> <p>⇒スポーツ少年団に加入していない子供の中には、そういった事情で加入していない子供もいると理解しています。また、ピアノや書道、そろばん等の習い事においても、その状況は同じであると理解しています。</p>
質問	<p>6②スポーツ少年団にも加入せず、クラブチームにも加入していない約半数の子供たちについてはどのような基準で部活動を選択させてあげようとお考えなのか？</p> <p>⇒これまでも、スポーツ少年団等に加入していない子供は、就学先の中学校に設置されている部活動の中から選択していたように、これまでの選択の仕方と変わるものではありません。何より、小学校段階でのスポーツ少年団への加入を推進していくことが重要であると捉えています。</p>
意見	<p>6③また、こういった子供たちに「部活動の選択肢」をどれだけ与えてあげることができるかも併せて考えていくべきだと思う。</p> <p>⇒学校規模によって設置できる部活動数には限度があります。これまでも、スポーツ少年団等に加入していない子供は、就学先の中学校に設置されている部活動の中から選択していたように、これまでの選択の仕方と変わるものではありません。その中で、より多くの選択肢を提供するために校区外の中学校に設置されている部活動に所属するための校区外就学の特例を提案しています。</p>
質問	<p>6④各中学校の部活動を減らし、各中学校に拠点をつくり、スポーツ少年団との一貫教育を推奨したいとのことだが、スポーツ少年団に入団していなかった子供たちはどこの部に入部すればいいのか？現状はスポーツ少年団に入団していない子供たちの方が多いのではないか？これについては事務局ではどのような対応をするつもりなのか？</p> <p>⇒中学校からの入部も可能です。これまでも、スポーツ少年団等に加入していない子供は、就学先の中学校に設置されている部活動の中から選択していたように、これまでの選択の仕方と変わるものではありません。</p>
質問	<p>6⑤A君は小学生の時にスポーツ少年団にも加入せず、クラブチームにも所属していなかった。A君の地元の中学校は某種目のスポーツの拠点校になっている。A君は地元の中学に進学することを希望している。しかし、その学校ではスポーツ少年団等で活躍してきた子供たちと一緒に部活動をやらなくてはいけない。このようなケースの場合、A君は果たしてその部活動を選択するだろうか？</p> <p>⇒選択するかどうかについては明確な回答はできませんが、これまでも、そのような状況は多かれ少なかれ、どの部活動でも起きていたと理解しています。</p>

	<p>A君がその部活動を選択する場合は、そのような状況を受け入れて取り組み、反対にそれが嫌で他の部活動を選択する場合は、他のスポーツ・文化で目標を見付けて取り組むということになるのだろうと思います。</p>
質問	<p>6⑥このA君のような立場の子供たちが、拠点校への進学を希望する子供たちより遥かに多いと思わないか？こういったケースの場合、本当にA君に「部活動の選択肢」は与えられているとお考えなのか？</p> <p>⇒部活動とは別の面に重きを置いて、地元の中学校に就学する生徒の方が多くと予想されます。それは別に悪いことでもなく、自分の置かれた状況の中で、どのような条件に一番重きを置いて選択するかということだと考えます。小規模校では、もともと選択肢が少なく、いかなる状況でも、選択した部活動で目標を見付けてがんばっています。中には、選択肢が一つしかない学校もあり、その学校では、どのような状況であろうが、その状況を受け入れてがんばっている生徒の姿を実際に目にしています。</p>
質問	<p>6⑦現状は既に各中学校美術部の部員が増加傾向にある。これは何故か？本当に中学校で美術部に入りたかった子供たちがこれだけいたからか？南砺市は8中学校区に中学校を残し、拠点校化を進めると、益々美術部の部員が増えていくとは考えられないか？何も美術部が悪いとは言っていない。美術部の部員が増加傾向にあるのは現在でも既に南砺市の子供たちは「部活動の選択肢」が狭くなってきているからだといったことはないか？</p> <p>⇒美術部へ入部する理由は、「技術を身に付けたいから」「絵が上手になりたいから」「好きな絵を描きたいから」「地域のスポーツクラブで活動するため」「仲のよい友達がいるから」「活動が楽だから」「休日に活動がないから」「先輩がいないから」「特にやりたいものがないから」など子供によって違い、多様です。いずれにせよ、部活動が「人間形成」や「自己実現」等「なりたいたい自分」を追求する場になることが重要だと考えています。そのためには、それぞれの部活動の魅力を高めることが肝要だと考えています。</p>
質問	<p>6⑧今後益々生徒が減少していくにも関わらず、南砺市が推し進めようとしている8中学校区に中学校を残すという方向性は部活動のことだけを考えれば本当に正しい選択だったのか？</p> <p>⇒8校区に学校を残す方向性は、部活動を第一に考えたものではありません。学校の教育活動は、学習指導要領に示されている教育課程（各教科、特別活動、道徳、総合的な学習の時間）を適切に計画し、ねらいを達成できるように進められています。教育課程外の活動である部活動は、各学校の裁量で実施されており、教育課程との関連を図りながら実施するものとなっています。もちろん生徒にとって部活動が学校生活の中で大きな位置付けとなっていることも承知しています。</p> <p>一方で、学校のあり方を検討する時に、学校の教育活動のねらいを達成するためにどうあればよいかを柱として協議されるべきものであると考えてい</p>

	ます。
意見	<p>6⑨中体連の合同部活動の制限が、柔軟な部活動運営やチーム作りを困難にしている。顧問や指導者は、意図的な強化につながるチーム編成をしないという条件で、柔軟にできるようにすることと、校長が部活動（合同部活動チーム）としてクラブチームを認めることができれば、方法も多様にできると思われる。</p> <p>⇒部活動の活動の成果を発揮する場として、中体連や文化団体が主催する大会やコンクールがあり、学校代表として出場する身近な大会やコンクールとなっています。各競技団体でもチャンピオンシップの大会を開催していますが、特に中体連は学校部活動の組織となっているため、現在学校設置の部活動以外の参加は認められていません。スポーツ庁でも、大会参加のあり方の検討を関係団体に働きかけているようですが、見通しは不透明です。</p>
質問	<p>6⑩拠点校を設置し、部活動のために地域を越えて学校を選ぶとあるが、そのまま部活動の種目を維持する必要があるのか。中体連の試合に出ることが目的なのか。</p> <p>⇒市全体で多様な活動が可能になることは重要だと考えています。</p> <p>中体連の試合に出ることだけが目的ではありませんが、試合にも出られない環境は、目指す環境とは言えないと考えます。</p> <p>部活動については、学習指導要領に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢との交流の中で、人間関係の構築、生徒自身の自己肯定感を高める。 ・学習意欲の向上、責任感・連帯感の涵養等、資質能力を育成する。 <p>など、その意義が謳われています。決して運動部が中体連の大会に出場するためだけに設置しているのではないことをご理解ください。活動を通して身に付けた技術等を発表する場として大会やコンクールがあります。</p> <p>これまで、中学校部活動は地域のスポーツ・文化活動の入口的役割を果たし、スポーツ振興・文化振興の一端を担ってきました。国が進めようとしている休日部活動の地域移行を実現するためには、受け皿の整備が不可欠です。現在あるスポーツや文化活動を廃れさせないためには、受け皿が確立するまで学校の部活動として運営しながら、段階的に地域移行へ進めていくプロセスが必要だと考えております。</p>

7 【部活動設置の基準】	
意見	7①拠点化校については一つの提案としてはありかなと思う。
意見	7②部活動の拠点化への取組のよい方法ということは、正直、まだイメージができてこない。これからも前向きにとらえていきたいと思う。
意見	7③部活動拠点化については、前向きにとらえている。特に、強化につながるよい方法でもある。

意見	<p>7④こればかりは実際にやってみないと分からないが、教育委員会が考えているほど拠点校化案は効果が薄いかもしれない。</p> <p>⇒将来の生徒数減少による選択肢の減少、活動の弱体化等いろいろなデメリットをできるだけ最小化するための提案です。デメリットを全て解消することは限りなく難しいことだと承知しています。部活動のあり方検討委員会で協議を重ね、よりよい方法を探りながら軌道修正を図っていく必要があると考えています。</p>
意見	<p>7⑤部活動に必要な最低人数を団体戦に必要な人数を基準に考えるのもよいが、より多くの子供たちにより多くの選択肢を与えてあげるために、団体戦には出場できなくても個人戦には出場できるといった道を残してあげたい。</p> <p>⇒もちろん、個人戦のある競技では、個人戦への出場は何ら問題ありません。今後の部活動の設置を考えると、生徒数のほか、顧問教師の人数や地域指導者の有無、使用可能な施設・設備等多面的な条件を考慮する必要があります。教員の超過勤務時間が問題視される中、これまでのような一つの部に一人の顧問配置では、その課題が解決できません。いろいろな条件を考える必要があることをご理解ください。</p>
意見	<p>7⑥また男女別々に一つの部活動と考えるのではなく、一緒に練習できる種目であれば受け入れてあげる道も残してあげてほしい。</p> <p>⇒男女一緒にした方がよいか、別々にした方がよいかは、使用できる施設環境や指導者の状況、小学校段階での連携した活動場所の確保などを考慮し、よりベターな方法を各スポーツ団体と協議していかなくてはいけないと考えています。</p>
意見	<p>7⑦今後具体的にどこの中学校にどの部活動を残すかといった協議をするときには誰が見ても分かりやすい基準でお願いしたい。地域の有力者から圧力がかかったからこの部活動は残すとか、競技団体等が弱いから潰すといったことが絶対無いように公平・平等にお願いしたい。子供のためにといいながら、結局私たち一部の大人が子供たちの選択肢を狭めているといった結果になることだけは避けていただきたい。</p> <p>⇒具体化する際は、そのスポーツや文化活動の指導者や関係団体を構成される方々の十分な話し合いと合意形成が必要不可欠と考えております。</p>
質問	<p>7⑧県立高校の統廃合を決める時に、福野平高校のスキー部と郷土芸能部の存在が大きかったと聞いたように記憶しています。南砺市も現在あるスポーツ・文化を廃れさせない方針ということは、市内に少数しかない競技、例えば「なぎなた」とかはおのずと福野中学校に残した上で他の部活動をどうするかという議論になるということでしょうか？</p> <p>⇒部活動設置の条件としては、そのような条件も考慮されると考えられます。その地域に根差したスポーツや文化活動があると思いますので、市内の指</p>

	<p>導者や団体間の合意形成によって決定していくものだと考えています。</p>
意見	<p>7⑨多様なスポーツの中から8つの地域で受け入れられるスポーツ数を限定することも、その考えが割り切れることなのか？・・・この辺を割り切ればよいのでしょうか・・・。</p> <p>⇒生徒数という条件は、よほど多くの転入がない限り、大きく変わることはなく、出生数から将来の生徒数の減少はおおよそ予測できます。その人数で設置できる部活動数はおのずと決まってくるから、生徒数が大幅に増えない限り、割り切らざるを得ない課題ではないかと考えています。</p> <p>子供たちの充実した活動のためには、旧町村の範囲での指導から市全体を範囲とした指導へと、指導者が考え方を切り替えなければいけない時期に来ていると捉えています。</p>

8 【スポーツ少年団単位団の合併】	
意見	<p>8①南砺市スポーツ少年団では3年連続で団員数が10人に満たない場合、単位団の合併等を促すこととしています。</p> <p>⇒少子化の影響はますます大きくなると予想されます。単位団の合併も選択肢としながら、市全域を見渡してより多くの仲間と切磋琢磨する経験ができる環境の整備が大切と考えています。</p>
意見	<p>8②練習場所も遠くなり、帰宅するまでにそれなりの時間を要し、保護者の負担も大きくなるという現状があります。 → 入団者数が益々減少するのではないかと心配しています。</p> <p>⇒現在の単位団の範囲からは広くなり、送迎の面で負担が大きくなることは予想されます。これまでも送迎ができないために子供に入団させていないケースはあり、入団の可否のために何を優先するかは保護者の考え方によるところが大きいと考えています。そのため、校区ごとにその校区で行うスポーツへの勧誘を強化していく必要があると考えています。</p>
質問	<p>8③令和4年度に「スポーツ少年団の集約」との一文がありますが、南砺市スポーツ少年団本部でもこのようなことは聞いていません。いったいどのようなことなのか具体的にお話を聞かせていただきたい。</p> <p>⇒あくまでも、部活動の拠点校化を進めるとなった場合、安定した部活動の維持のためには、その活動に関連する小学校段階の活動から太いパイプ作りが必要になってくるという趣旨です。スポーツ少年団を集約するかどうかは、今後の検討委員会の協議の内容を踏まえて、スポーツ少年団本部や指導者間で十分協議して検討されることであるとと考えています。</p>
意見 質問	<p>8④教育委員会の中で、「スポーツ少年団の単位団が多すぎる」との発言をされた方がいるとの情報がありました。何を根拠にそのようなことを言われるの</p>

	<p>か知りませんが、大変失礼な話だと思います。</p> <p>各単位団の指導者等は全くのボランティア。週3回の活動を定期的に行っても、スポーツ推進委員のように何一つ行政から手当等も頂けるわけではない。もちろん手当が欲しくてスポーツ少年団で子供たちの面倒を見ている訳ではない。単位団が多すぎるから辞めろと言われるのか？</p> <p>今後スポーツ少年団の協力なしには「部活動のあり方」も進んで行くわけがないのに、現場で日々一生懸命子ども達のお世話をしている指導者の気持ちを逆なでするような発言は絶対に止めていただきたい。</p>
	<p>⇒「スポーツ少年団の単位団が多すぎる」との発言がどの場面でどのようにされたのかは承知しておりませんが、10人未満の単位団が多くなっていて困っているという話の中で、子供の人数に対する受け皿の割合のことについて述べたものと推察します。もし、そのように感じられたとすれば、申し訳ありませんでした。少人数で活動せざるを得ない現状を改善し、より多くの仲間と切磋琢磨して活動するには、単位団の構成人数が多い方が活動が充実するという趣旨かと思えます。</p>

9 【少年団活動の頻度】	
意見	<p>9①学校で眠そうにしていたり、あくびをしているのはスポーツ少年団活動が夜遅くまで行われているからではないかとの学校側からの意見もあり、現在活動日は週3日まで、時間は21時まで終了するとの取り決めを行っています。</p>
	<p>⇒心身が健康でバランスの取れた生活を送ることは最も重要なことだと考えています。中学校部活動においても、週11時間程度、平日で4日（2時間程度/日）、休日で1日（3時間程度/日）の活動時間をガイドラインによって定めています。この他にも、学校ではアウトメディア週間を設けるなど、心身の健康の保持・増進のための教育活動が行われています。</p>

10 【小中一貫指導】	
意見	<p>10①スポーツ少年団から部活動への一環指導もそれはそれで大切だとは思う。</p>
意見	<p>10②スポーツ少年団から部活動への連携を模索されているようだが、現状はそんなに簡単なものではないと感じています。</p> <p>⇒事務局としても、そのように捉えています。しかしながら、子供のために今やる必要があると考え、提案したものです。小学校段階の活動と中学校段階の活動の連携には、関係団体が協議を重ね、合意形成を図っていくことが重要だと考えています。</p>
質問	<p>10③スポーツ少年団の指導者に部活動まで指導していただきたいということなのか？との思いがある方もいるので、誰でも分かるようにご説明をお願いしたい。</p>

	⇒スポーツ少年団の指導者が必ず部活動まで指導していただきたいということではありません。その活動によって9年間を一貫して指導できる場合もあれば、小学生の指導者、中学生の指導者が分担される場合もあると思います。いずれにせよ、十分な連携を図りながら継続一貫した指導がなされる体制づくりは、子供たちに充実した活動を提供するという視点で重要なことであると考えています。
--	---

11【スポーツ団体のあり方】	
意見	<p>11①学校は8学区に残すのに、行政はスポーツ少年団も総合型地域スポーツクラブも合併して南砺市で一つにしたいと言われる。8学区のそれぞれの地域で学校を中心に子供たちを育てようと言うならば、スポーツ少年団の各支部も残し、総合型地域スポーツクラブも残して一緒になって地域で子供たちを育てた方がよいように感じます。</p> <p>⇒8地域ごとに部の数を思い切って減らし、地域ごとに指導する方法も考えましたが、市全体での多様な競技の指導者を生かし、少しでも選択肢を増やす上で、今回の提案にいたりました。もちろん、児童生徒数の減少による活動の弱体化が回避できるのであれば、それでもよいと考えます。小規模化によって、ある面（特に活動成果の発表の場）では活動に支障が出てきている現状を解決する一つの方法としての提案です。</p>
意見	<p>11②将来的に、部活動に関しては拠点校をつくり指導を地域に委託するということが前提なのであれば、地域毎にあるスポーツ少年団を1つにまとめるための協議を早急にしていただけるよう、当局より働きかけていただいてはいかがでしょうか。</p> <p>⇒拠点校をつくり、指導を地域に委託するという事は、前提でもなければ、決定事項でもありません。あくまでも部活動のよりよい環境整備のためにお示ししている案です。メリットを最大化し、デメリットを最小化するための協議の材料として捉えていただければと思います。</p>
意見	<p>11③一度に統合することは難しくても、競技毎に拠点を決めたいうえで、人数の多い競技は活動場所や曜日などを分けて活動し、一定数まで人数が減ってきた場合は予め決定している拠点に統合するという方向で協議していただくなど、ご検討いただきたい。</p> <p>⇒もちろん、それも一つの活動方法だと考えますが、活動できるギリギリの人数で活動しているのが現在の状況であると認識しています。指導者や関係団体の皆様が中心となって、数年後を見越して協議していただき、ある程度の期間安定した活動ができるような環境づくりに、今、行動を起こす時だと認識しています。</p>
意見	<p>11④部活動の拠点校を目指す場合、各地域にいる指導者の連携が必要であるが、話し合いの中で、市体育協会の役員は一体となるかもしれないが、実際に指導</p>

	<p>する指導者まで伝達されていない状態であると聞く。さらに、同じスポーツの指導者同士が仲の悪い状態であるとも聞いた。体育協会主催の南砺市スポーツの現状と課題の学習会等（悉皆）を開催し、課題の共有を図ることも必要かと思われる。</p> <p>⇒指導者によって指導観の違いはあって当たり前だと認識しています。その中で、立場は違って子供たちのために指導者として何ができるか、どのような行動変容が必要なのかを共通理解しながら、共通行動をとっていくことが大切だと考えています。今後、各競技団体の指導者との協議が大切だと考えています。</p>
意見	<p>11⑤地域のスポーツクラブが部活動を運営する。教師は、窓口となったり希望すれば指導者となったりすれば、制限されずに、いつでもどこにいても活動が可能となる。（学校との連携は必要ですが）</p> <p>⇒この提案も方法の一つだと考えます。総合型地域スポーツクラブ設立当初、部活動の補完的な役割を担うことも、その機能として期待されていました。実際、学校部活動のいろいろな制約（例えば中体連の大会への出場規定）によってうまくいかないという課題があります。また、指導者の確保や受益者負担等も課題となっています。今後もスポーツ・文化関係団体が協議を重ねながら合意形成を図っていくことは、必要不可欠なことだと考えています。</p>

12【学校の設置・規模】	
意見	<p>12①例えば福光中学校も吉江中学校も現状では野球部の存続が危うい状況。もし福光中学校や吉江中学校の野球部を廃止ということになれば当然「バットの町から野球部を無くす気か！」となると思う。だったら福光中学校と吉江中学校と統合すれば野球部を存続できるのではないかと議論が出てきて当然だと思います。</p> <p>これは何も野球部に限ったことではありません。吹奏楽等文化部も同じです。部活動のことだけを考えるのであれば8校に拘る必要性はないと思います。事務局の提案は総論賛成各論反対になりかねないと思います。</p> <p>⇒今後部活動が地域へ移行していくことから考えても、学校の統合問題は部活動最優先ではありません。バットの町から野球部がなくなるということになると、そのような感情が起こり得るのも理解できます。一方でバットの町だから野球部があったのかということそれだけではない一面もあります。各論について合意形成を図っていくには、保護者をはじめ指導者や関係団体関係者等と協議を重ねていくことが重要だと考えています。</p>
意見	<p>12②少なくとも私の周りには、何故福光地域だけ中学校を2校残すのか？と疑問に思っている方が圧倒的に多いです。</p> <p>⇒「学校のあり方検討委員会」において、将来児童・生徒数の減少による小学校・中学校の統合については、福光地域では「義務教育学校化」のみとせず、</p>

	「校種毎の統合」も選択の一つとしています。
質問	<p>12③令和元年の「第3回南砺市公共施設再編計画改訂方針検討委員会会議録」の中で「特に中学校は集約して、部活動を多くして選択肢を沢山持たせてあげることが大切でないかと思う。」「部はコレとコレしか無いからこの中から選びなさいってなるようで、それは本当に可哀相だなと思います。」</p> <p>「中学生は必ずしも小学校とリンクしていかなくても良いということで意見の集約ができていないんじゃないですかね。中学生にまでなると距離が遠くなっても、むしろ部活動が一生懸命できたり、友達と切磋琢磨できたりする方が良いんだから…」等の記載が南砺市のホームページに残っています。また、今年度の「第1回南砺市行政改革推進委員会」の議事録ではまちづくり協議会の会長が南砺市の提案された学校あり方について強烈に反対されているのが伺えますが、こういった検討委員会というのは委員がどれだけ検討を重ねても、最後は「市の内部検討により策定」ということで違う方向に進んでしまうこともあるということなのでしょうか？</p> <p>⇒「公共施設再編計画改定方針検討委員会」での提言、「学校のあり方検討委員会」での提言等を踏まえ、地域や保護者の願いや思いを大切にしながら協議を重ねていく必要があると考えています。</p>
意見	<p>12④富山市と南砺市では違うということは理解していますが、富山市では1学級当たりの望ましい人数として、球技や合唱、班活動などに制約が生じない「21人以上」と定めたということです。</p> <p>⇒充実した活動のための人数的な条件は一要素になる一方で、富山市と南砺市の状況や課題は必ずしも一致するものではありません。南砺市では保護者や児童・生徒の通学の負担軽減も重要な条件となると考えています。</p>
意見	<p>12⑤小規模校では体育の時間にバレーボールの試合をするために校内中の職員も動員して何とか試合を行ったといったことも聞いたことがあります。</p> <p>⇒学習指導要領では、ボール運動（小学校）・球技（中学校）を履修することとなっています。内容はゴール型、ネット型、ベースボール型を扱うこととしており、バレーボールはネット型の内容となります。ネット型のスポーツについては、例えば中学校ではバレーボールの他にバドミントン、卓球、ソフトテニス等も例示されており、学校の実態に応じて学習する内容を定めることとなっています。</p>
質問	<p>12⑥南砺市の現状で8つの中学校を残すとなると、小規模校では近い将来部活動自体が成り立たない学校が出てくる心配はないのでしょうか？</p> <p>⇒教育課程外の活動として行われる部活動の内容は学校が定めるものです。部活動を設置するにあたっては、施設や設備、生徒数等のいろいろな条件を考慮して学校規模に応じて活動可能な部活動を設置することとなります。</p>
質問	<p>12⑦富山市立中学校選択制通学区域外からの受け入れ枠が決まっているようですが、南砺市が行おうとしている拠点校化案には受け入れ枠がないという</p>

	<p>ことよろしいでしょうか？</p> <p>⇒現時点では枠を設定することまで議論していません。検討委員会での協議の中で不都合が生じるという見解となれば、協議し是正することも必要と考えています。</p>
質問	<p>12⑧富山市でも山村部にある中学校への通学区域外からの入学希望者はほとんどいない。南砺市でも拠点校化案を進めれば進めるほど、山村部の生徒数は益々減少し部活動そのものが成り立たなくなってくるといった心配はないのか？</p> <p>拠点校化案を進めると、生徒数の小さな学校は益々生徒がいなくなり、生徒数の大きな学校は益々生徒が多くなるといったことはないのか？</p> <p>⇒その可能性は否定できません。地域と一体となって特色ある学校づくりを各校が進め、魅力ある学校づくりに努めることとしています。どの学校も自分の地域の学校に愛着をもてるよう工夫をしています。</p>
意見	<p>12⑨黒部市では学校の統合で昨年4月に開校した清明中学校や明峰中学校の3年生と大野市長が学校統合の感想等意見交換したとの記事があった。その中で生徒から「すぐに打ち解けられ安心した」「行事や部活動が活発になった」との声が聞かれたとのこと。部活動のあり方も本来は子供たち自身の大きな問題なのに、直接子供たちから何の意見も聞かず、大人だけで決めてしまっているのかな？という不安もある。</p> <p>8つの中学校を残すという判断をされた南砺市。その南砺市の子供たちのために部活動の拠点校化を進めたところで「行事や部活動が活発になった。」という感想が聞かれることがあるのかとても心配している。</p> <p>⇒1市1町が合併した黒部市と4町4村が合併した南砺市が抱える課題は必ずしも同じではないと承知しています。部活動を拠点化することで、市内全域におられる指導者の力を結集し、より充実した活気のある部活動づくりにつながると考えています。</p> <p>また、各学校では、子供たちが楽しいと感じられる学校づくりに努めています。今後も「分かる授業」「楽しい授業」「心の居場所となる学級・学校」づくりをとおして、子供たちの学校生活の充実につながるよう努めていくことが必要だと考えています。</p>

13【部活動による学校選択】

意見	<p>13①部活動のために校区を超えた就学をした場合の通学手段が、家族での送迎には限界があると思う。</p> <p>中学校入学時での部活動のために校区を超えた就学をした場合、小学校の友人と別れることになり子供自身が新しい環境での対応ができるのか心配がある。校区外への就学後の校区内へと転校となる場合等が考えられる。</p>
----	---

	⇒部活動による学校選択には、送迎の可否についても条件となります。友人と別れることも条件の一つとなります。いろいろな条件の中で何を優先するかは、一人一人違い、本人と保護者・家族等が相談しながら、各家庭で決断していくものと承知しています。そのためにも、小学校段階でのスポーツ少年団への勧誘が鍵になると考えます。
意見	13②富山市では通学区域外への入学希望者は全入学予定者に占める割合は7.95%とのこと。南砺市と比較しても交通の便もよいように感じる富山市でさえこの状況。部活動の拠点校化でいったい何人の子ども達が部活動で中学校を選択するの心配。 ⇒通学区域外への入学を認める案は、就学予定先の中学校にやりたい活動を行う部活動が設置されておらず、就学校を変更してでもその活動を行いたいと考える生徒が、住所を変更しなくても就学できるようにするためです。部活動を重視し、どうしてもその活動をしたという生徒への門戸を開くためのものであり、所属を希望する部活動によって就学先を決定するものではないことをご理解ください。
質問	13③拠点校化案を進めると、生徒数の小さな学校は益々生徒がいなくなり、生徒数の大きな学校は益々生徒が多くなるといったことはないのか？ 生徒数も多く、選択できる部活動の数が比較的多くなりそうな福野中学校を希望する生徒が増え、山間部や福野の近隣の中学校の生徒数が減少するといった心配はないのか？誰だってより多くの部活動の中から自分のやってみたい部活動を選択したいと思うのが自然だと思う。 ⇒その可能性は否定できません。各学校では、部活動も含め、地域と一体となって特色ある学校づくりを進め、魅力ある学校づくりを目指しています。
意見	13④因みに私のお預かりしている数人の小中学生に部活動で中学校を選びますか？と質問したところ「選ばない。」との子どもが圧倒的に多かった。3月に全国小学生大会への出場が決まっているような選手でも一人を除いては、地元の中学に進学したいとのこと。このような状況の中で部活動の拠点校化がどこまで子供たちや保護者に支持されるのかとても心配している。 ⇒「選ばない」と回答した子供や保護者は、学校生活に部活動以外の何かに価値を感じておられるのだろうと思います。例えば、「地元の中学校で学びたい」ということも選択の際の条件の一つになるのだろうと考えています。
意見	13⑤現時点で、校区外の中学校に入学するためには住所を変更しなければならないというルールがあるのであれば、実態に合うように、部活動を理由とした校区を超えた就学も認められるよう早急な見直しが必要ではないか。 ⇒現時点で住所を変更して指定校以外に就学している南砺市内の生徒は0.5%（6/1209名）です。見直しが必要な割合かどうかは、十分な議論が必要であると考えています。
意見	13⑥いずれ拠点校化によって校区外への入学を認める方向なのであれば、来年

	<p>度の新生生の入学手続きに間に合うように早急にご検討を。(実際にどれくらいの子が部活動を理由に校区外の中学校への入学を希望するのかを把握することもできる。)</p> <p>⇒部活動のあり方検討委員会で協議を重ね、拠点校化案を進めていくという結論が出て、具体的な部活動の設置についてまとめれば、できるだけ早い段階で周知する必要があると考えています。部活動を拠点校化の方向で進めるのか現在のままでいくのかの方向性が出ていない現段階では、そこまで踏み込めないことであることをご理解ください。</p>
意見	<p>13⑦部活動の拠点校化に伴い、校区を超えた就学を認めるがスクールバスは運行しないということに関して、登下校の送迎に家庭の事情が大きく影響するため、子供の希望に応えられるかどうかという点において平等ではない。また、子供の希望に応えるために、親の負担が過度に増えるということも平等ではないと思う。</p> <p>⇒現状でも、多かれ少なかれ登下校の送迎に家庭の事情が影響しています。登下校の送迎の可否については、選択の際の一つの条件となります。現状でも学校規模によって選択肢が違う、自宅の場所によって送迎の負担度が違うなどの様々な課題があり、すべての人が平等になるようにすることは限りなく難しいことだと認識しています。</p>
意見	<p>13⑧すべての子供たちができるだけ同じ条件で部活動を選択できるような体制にすることも合わせて協議していく必要があると思う。</p> <p>⇒現状では就学指定校の学校規模によって選択肢に格差が生まれています。小規模校はほとんど選択の余地がありません。部活動の選択による就学校の変更を認めることは、より多く選択できる部活動を提供するという面では、学校規模に関係なく平等が担保されると考えます。</p>

14 【アンケートの実施】	
意見	<p>14①現在の中学1・2年生を対象に、学校毎・学年毎に現状把握のためのアンケートをとってはどうか。</p> <p>今後、方向性を定めるうえで実際に当事者である生徒の思いや意見を聞くことが一番重要であり、優先すべきことだと思う。</p> <p>《質問内容の案》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動を選ぶ際に希望の部活動を選択できたのか？ ・希望の部活動を選択できなかった生徒は、なぜできなかったのか？ ・部活動に関する理由で校区外の学校に通っている？ ・希望の部活動を選択するために校区外の学校に行けるとしたら行きたかったか？ ・意見・要望等

	<p>部活動のあり方について、検討委員の中にPTAの役員の方々がおられるとしても、当事者の全ての意見を反映できないとすれば、今後該当する生徒、保護者向けにアンケートを実施し、その結果に基づいて検討してはどうか？誰のための部活動なのか、学校のあり方についても同様ですが、結論ありきであれば、会議の必要性もないと思うし・・・。</p>
	<p>⇒アンケートをとることは一つの方法ですが、将来の生徒数減による部活動の存続の危機について、生徒や保護者が十分理解した上でアンケートを実施する必要があると考えています。部活動の拠点校化は、現状を大きく変える提案です。それぞれの立場や地域事情による感情によってアンケート結果が左右されることにならないよう、実施については慎重な議論が必要だと考えます。</p> <p>確かな情報も周知されないままのアンケートはさほど意味がありません。だからこそ、この委員会を立ち上げたことをご理解ください。</p>

15【人間関係】	
質問	<p>15①小規模校の義務教育学校だと、例えば体育祭で100m競走をしても小学校1年生時から卒業するまでの9年間この子には敵わないというのが5人なら5人ずつと順番が決まってしまうと全然競走にならないといったことを言われる方もいるが、小規模校ばかりだと部活動に於いてもこのような影響があるとは言えないのか？</p>
	<p>⇒競走という面だけを考えるとそのような懸念も考えられるかもしれませんが、部活動は他との競争で勝ることだけが目的ではなく、「人間形成」や「自己実現」等「なりたい自分」を追求する場になることが重要だと考えています。また、やり方を工夫することで、この問題は解消できます。</p>

16【部活動のあり方の検討】	
意見	<p>16①部活動の経験から多くのことを学び、そのことが社会生活において大変重要であると実感している。当時に比べ、部活動の環境が大きく変化しており、部活動のあり方について様々な視点での協議が必要であると感じている。様々な立場の方からの意見をお聞きしながら、私自身も考えを深めていきたい。</p>
意見	<p>16②南砺市立学校のあり方検討委員会からの提言書の中には「おおむね5年ごとに検討委員会で再度協議」と記載されているとのことだが、副委員長さんは「もし南砺市の思っている以上に子どもの数が減少した場合には、5年とわず直ぐにでも検討委員会を開催していただきたい」と口頭で教育長に伝えられたと聞いている。この部活動のあり方検討委員会も学校のあり方検討委員会同様今後も開催していただきたいと思う。</p>

	<p>⇒将来的に生徒数の減少により、学校のあり方検討委員会の方向性が、現在の案から変更され、部活動に関して検討しなければいけない課題が生じれば、部活動のあり方検討委員会の開催も同様に必要になってくると考えています。「学校のあり方検討委員会」の中で、部活動のあり方も含め定期的に協議をすることも検討したいと考えています。</p>
意見	<p>16③親の声（PTA）として、「部活動のあり方は市教委の考えで、『ありき』になっている」といった声があることを聞き、南砺市の学校教育の危機感は、まだまだ浸透していないと感じた。（教育長は様々な場面で伝えておられるのに）今後、ますますの南砺市の課題を市民の方々に啓発しながら、部活動のあり方への取組を考えていく必要があると思われる。</p>
	<p>⇒あくまでも課題解決に向けた協議をするための提案ですが、「部活動の拠点校化」が独り歩きをして誤解を与えているとすれば、将来の生徒数減少による部活動運営への支障等の課題が理解されるよう、丁寧な説明を重ねることが必要だと考えています。</p>